

大牟田市立白川小学校

1 本校のESDの特徴

本校は大牟田市のほぼ中央部に位置しており、学校のすぐ近くを国道が通り、大型商業施設やマンションが建ち並び、周囲には住宅が密集している。自然環境にふれ合う機会は少ないが、学校には、市内で一番広い運動場があり、樹木がたくさんある。さらに、地域には、白川校区に長く住み、住みよい町づくりに取り組む人が多い。また、エネルギー教育モデル校として、教科や課外活動を通じてエネルギーについて幅広く学び、子どもが将来のエネルギーに対する適切な判断と行動を行うための基礎を構築することを目的とし、その実践に取り組んでいる。

そこで、地域の特色を生かして、「住みよい町づくり」をテーマに、「環境」「福祉」に関わる課題を主に取り上げ、低学年では「生活科」で、3～6年では「総合的な学習の時間」において、次のような点に配慮しながら学習を進めている。

〈生活科〉→地域の人やもの、自然とのつながりを大切にする。

〈総合的な学習の時間〉→「環境」「福祉」という視点から、校区のよさや問題点を見つけ主体的に活動する単元を設定し、「住みよい町づくり」につながるように指導していく。

〈めざす子どもの姿〉

- 現代の社会や自分たちの行動が未来につながっていることを認識する子ども
- 身の回りの人や世界とのつながり、自然環境との関係を尊重する子ども
- 主体的に問題をとらえ、解決していこうとする態度を持つ子ども

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

〈テーマ：「住みよい町づくり」〉

学 年	内 容	教 科	時 期
1 年	「きせつをたのしもう」【環境】	生活科	5～12月(20時間)
2 年	「もっと行きたいな町たんけん」【環境】	生活科	10～12月(19時間)
3 年	「白川校区のじまん隊」【地域連携】	総合的な学習の時間	5～7月(24時間)
	「伝え合う心」【福祉】	総合的な学習の時間	10～12月(15時間)
4 年	「ゴミ減量大作戦ⅠⅡ」【環境・エネルギー】	総合的な学習の時間	5～2月(31時間)
	「敬老会に向けて」【福祉】	総合的な学習の時間	9月(10時間)
5 年	「白川の緑を守ろう！」【環境・エネルギー】	総合的な学習の時間	4～1月(25時間)
6 年	「ジュニア民生委員・児童委員として、将来の大牟田を考え、自分にできることをしよう」【福祉】	総合的な学習の時間	9～11月(15時間)
全学年	「お手紙わたし」【福祉】 弁当の日(3回) 「ペットボトルキャップ色分け」「落ち葉拾い」(ボランティア)	生活・総合 課外	9・1月(2時間) 通年

3 特徴的な活動事例

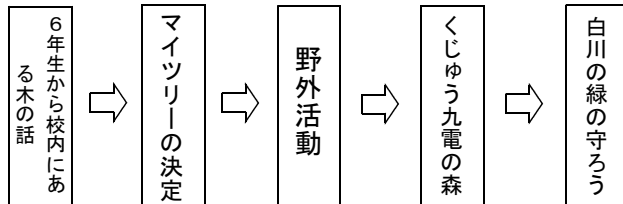
〈5年生 総合的な学習の時間 単元名「白川の緑を守ろう！」
25時間(4～1月)〉



(1) 目標

- 校内や校区内の木について調べ、身近な自然に関心を持ち、緑豊かな自然を守るために自分たちができることは何かについて考える。
- 木を調べたことで気づいた自然環境を取り巻く問題やその解決方法、森林のはたらきについて、調べたことや考えたことをコンピュータを使ってプレゼンにまとめる。

(2) 実践の展開



【『白川の緑を守ろう』活動紹介】
学校内外での活動記録を1月17日ユネスコ
スクールの日より掲示。

○成果

- ・最初に、6年生から前年度に学習した内容についての話を聞いたことで、自分たちがやるべきことがわかり、計画的に取り組むことができ、主体的に学ぶ子どもが育つ上で有効であった。
- ・「マイツリー」として、自分が調べる木を選んだことで、意欲的に学習を進めることができた。
- ・くじゅう九電の森での活動は、森林を守り育てる観点から大変貴重な体験をさせていただいた。そのおかげで自分の学校の木を守るために何ができるかを考える上で大変有効であった。
- ・人と「つながり」ながら、「一人で」「グループで」「家族で」「全員で」と様々な形態を取り入れたことにより、「自分も白川の緑を守ることができる」と主体的に活動する姿が出てきた。

○課題

- ・今年度は、白川小学校の木を守るために、木の役割を知ることや木の紹介プレートづくり、木のマスコットキャラクターづくりなどを行い、広める活動を行ってきたが、来年度に向けて、秋から冬にかけての落ち葉を腐葉土にして校内の植物の成長のために有効に利用できるような活動を目指したい。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・「住みよい町づくり」をテーマにE S Dを実践することができた。学年の掲示物や表現発表会により、どの学年も見通しを持って活動することができ、「人とのつながり」の大切さや「体験」することのよさを見つけることができた。地域の方も子ども達の学習に積極的に協力して下さった。
- ・お世話になっている方へ感謝の気持ちを伝えたり、自分たちの町のよさやよりよく生きることの大切さを感じたりすることができた。

○課題

- ・無理のない程度で地域との連携を深め、事前の打ち合わせや事後の話合いを密にし、地域の一員として活動を続けていく。
- ・学年間の縦のつながりの見直しと中学校とのつながりを意識する必要がある。